※令和４年度以降入学生用

学校番号	1008

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	深学国語Ａ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	「新訂版　正しく読み・解くための力をつける現代文　ステップ１．５」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

週に一度の深学の授業です。論理国語や文学国語での学習内容を踏まえて、問題演習に特化して取り組みます。制限時間内にしっかりと問題を読み取り、論理的にこたえられるよう、取り組んでいきましょう。
年間を通じて予習、復習をすることを進めます。同じ問題を何度も解くことによってつく力があります。積極的に問題演習に取り組んでください。

２　学習の到達目標

〔知識及び技能〕については、論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。〔思考力・判断力・表現力〕については、文章や資料を対象化して，その正誤や適否を吟味したり検討したりしながら考える力や，それを踏まえて自分自身の思考を意識的に吟味する力をつけることを目標とする。〔主体的に取り組む態度〕については、現代社会に関わる話題や問題に幅広く関心をもち，生涯にわたる読書習慣の基礎を築き，社会人として，考えやものの見方を豊かにすることを目標とする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	筆者の論の展開を把握する。 ［教材］ 「何のための教養か」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	表現技法に注意して読む。 ［教材］ 「本屋さんのダイアナ」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	対比事項を理解する。 ［教材］ 「科学的とはどういう意味か」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	言い換え表現に注意する。 ［教材］ 「大河の一滴」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	ポイントをおさえて要約する。 ［教材］ 「子の心親知らず」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している c：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	人物の心情を的確に読み取る。 ［教材］ 「サーカスの夜に」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	対比構造を把握する。 ［教材］ 「引き算の美学」と「足し算の美学」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している c：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	内容一致問題の解き方を学ぶ。 ［教材］ 「生物多様性とどう接していますか」	a：情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　３５　）時間